

国立

国会

図書館

月報

NATIONAL
D I E T
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2024.6

みなサーチ正式版を公開しました

全国書誌データ等の提供

ー国立国会図書館の書誌データ提供サービスのご案内ー



就任のごあいさつ

国立国会図書館長 倉田敬子



東京都出身

昭和 56(1981) 年 3 月

昭和 62(1987) 年 3 月

平成 13(2001) 年 4 月

令和 6(2024) 年 4 月

慶應義塾大学法学部政治学科卒業

同大学大学院文学研究科図書館・情報学専攻博士課程単位取得退学

同大学文学部教授（令和 3(2021) 年 8 月から令和 5(2023) 年 9 月まで文学部長）

同大学名誉教授

国立国会図書館科学技術関係資料整備審議会委員（平成 16(2004) 年～平成 29(2017) 年）、日本図書館情報学会副会長（平成 26(2014) 年～令和 2(2020) 年）、文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会学術情報委員会専門委員（平成 25(2013) 年～平成 27(2015) 年）、国立情報学研究所国際学術情報流通基盤整備事業運営委員（平成 25(2013) 年～令和 4(2022) 年）等を務めた。

この4月に、国立国会図書館長に就任いたしました。これまで皆様からいただきました国立国会図書館に対するご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

国立国会図書館は、国会図書館として国民を代表する国会議員の職務を補佐することを第一の役割としながら、日本唯一の国立図書館として、広く国民すべてに知識へのアクセスを保証する任務を担う機関です。

国会議員の職務への補佐であれ、国民への情報提供であれ、その土台となるのが日本における知の基盤の構築です。昭和23(1948)年に設立されて以来、国立国会図書館は日本国内で出版された図書、雑誌、新聞、官公庁資料、地図等について、納本制度を中心に、関係者のご理解も得ながら、網羅的な収集と永続的な保存に努めてまいりました。平成12(2000)年以降は電子図書館サービスとして、国内出版物のデジタル化、インターネット情報の収集・保存にも着手してまいりました。現在は2021年から2025年までのビジョンである「国立国会図書館のデジタル

シフト」に基づき、デジタルコレクションの拡充と市場でのアクセスが困難なものに関するユニバーサルなアクセスを進めております。

社会におけるデジタル化をはじめとする情報技術の進展は急激なもので、これまで印刷物を中心としてきた知識や情報の流通は、電子書籍や電子雑誌だけでなく、インターネット上の情報を含むものへと変化してきています。これは印刷物という情報を固定させるメディアから、常に更新、変更がなされるデジタルメディアへの変化と捉えることができます。常に流動することを本質とするデジタルメディアをいかに保存していくべきかについて、現状では正解はありません。またデジタルメディアは複製や編集が容易で、最近話題になることの多い生成AIの普及も相まって、簡単に事実とは異なる情報を流すことが可能になってきています。

これまで国立国会図書館が築いてきた紙の印刷物を中心とするコレクションは、情報の信頼性を検証していく基盤ともなりうるもの

であり、日本の文化資源として次世代に確実に継承していかなければなりません。同時に、急激に変化するメディア環境に対応した知の基盤をいかに構築していくかも模索する必要があります。知の基盤とは単に情報を収集・保存することだけを指すものではないと考えます。収集した情報は利用されなければ意義は半減します。必要な人に必要な情報が提供できる体制、特に経済的、身体的、さまざまな社会的要因で、知へのアクセスが妨げられないことがない体制を整備することが必要です。さらに、さまざまな人々が今後も情報や文化資源を生み出すことを可能とする環境を醸成することも知の基盤の構築においては考えていかなければならない課題といえます。

現状は困難な課題が多く、このような知の基盤の構築は果てない壮大な夢といわざるをえません。その理想に向かってあせらずにゆまず、国立国会図書館全職員で歩みを進めてまいりたいと思います。なにとぞご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

国立国会図書館 月報

NO. 758
JUNE 2024

CONTENTS

就任のごあいさつ

3 『寿々』 — 紙上の外国玩具コレクション —
今月の一冊 国立国会図書館の蔵書から

8 みなサーチ正式版を公開しました

21 全国書誌データ等の提供
— 国立国会図書館の書誌データ提供サービスのご案内 —

20 本屋にない本

『大名の献立 文化二年壬生御献立帳』

29 館内スコープ

もしも宝くじが当たったら

30

N D L
T o p i c s



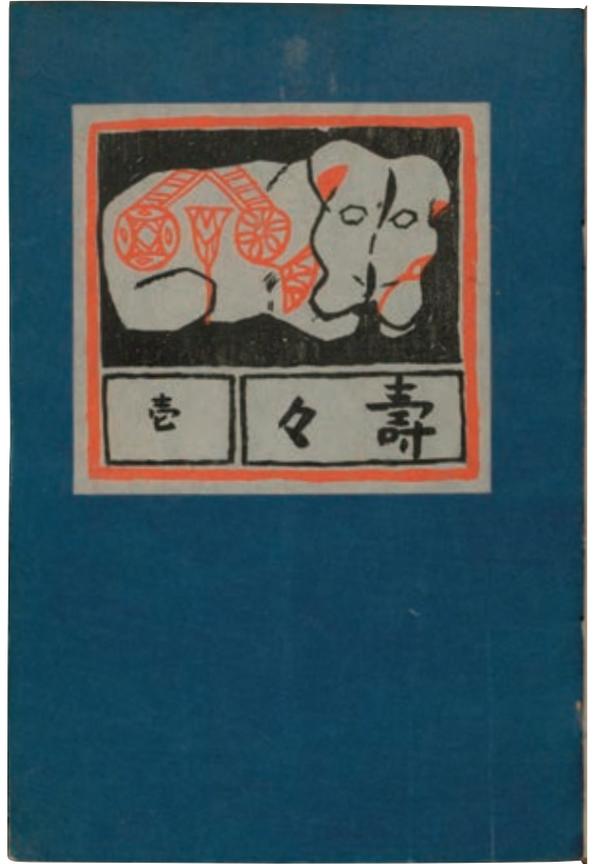
表紙：つばめ
杉浦非水『非水花鳥図案集』平安堂書店，[18--]. 32cm
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1184391/1/51>

『^{ジュージュウ}寿々』 — 紙上の外国玩具コレクション —

藤田千紘



第二巻の扉絵。大阪・吾八時代から深い付き合いのあった作家・里見弴（1888-1983）がビルマ（ミャンマー）の木彫りの仏像を基に図案化した。



第一巻の表紙。図案はカイロ博物館の図録から採ったもので、「もとは玩具であるかどうか存じませぬが多分そうであらうと思ひます」との言が添えられている。

山内神斧『寿々』[第1期] 1,2

山内神斧 [大正3]-[大正4]
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1183439>
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1183442>

本書は画家の山内神斧（やまのうちのしんぶ）（1966）による、世界各国の玩具を描いた画集です。いささか風変わりなタイトルは、フランス語で玩具を意味する Joujou から付けられました。購入申込みを行った者向けの限定版で、美濃紙二つ折りに木版墨刷り・手彩色で玩具を写し、毎月一回5枚折りの仮綴じで頒布されました。一冊の価格は五十銭、6か月ごとに表紙を添え、各自が好みに応じて装丁を完成させることができるようになっています。図版は（^{たじ}罫の類を除き）原寸大に近づけて描かれています。

近代化に伴い欧米文化が急激に流入すると、文化人・知識人の一部には、日本の伝統的生活への愛惜の情から素朴な郷土玩具を愛好する人々が現れました。明治期には仮名垣魯文（かながきろぶん）、内田魯庵（うちだろあん）、淡島寒月（あわしまんげつ）、坪井正五郎らによる趣味の集まり「竹馬会」に玩具が持ち寄せられたことをきっかけに、郷土玩具画集の嚆矢となる清水晴風（しみずせいふう）『うなるの友』が誕生します。同書は明治24（1891）年の初編刊行から巻を重ね、清水の没後は西沢笛畝（さいざひてきほ）が引き継いで、全10編の一大画集となりました。玩具を愛する人々が集った「大供会（おほどもかい）」も結成されるなど、明治から大正にかけて郷土玩具の愛好趣味は広がっていきます。

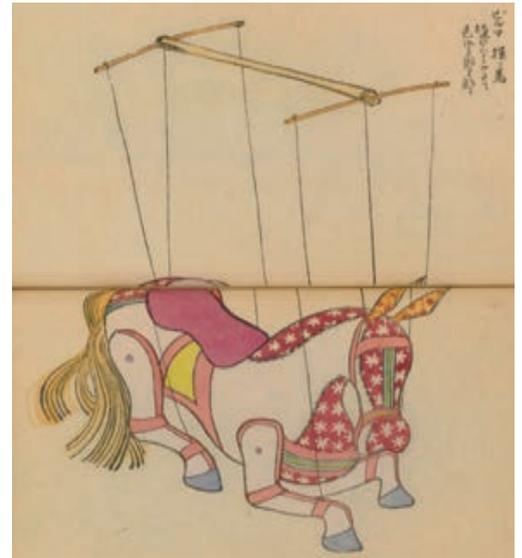
本書もそうした流れの中にありますが、や



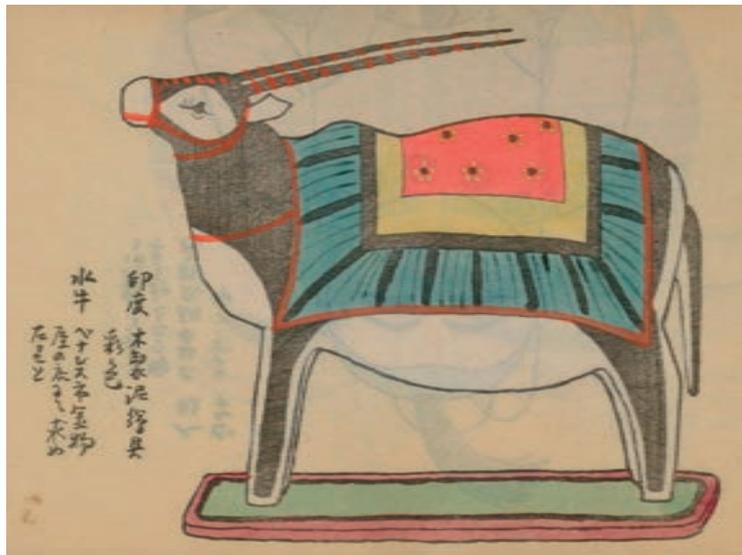
京都在住の集古会会員、小山源治（生没年不詳）が所蔵していた中国・北京の紙製の魚。



収集家の林若樹（1875-1938）が所蔵していた、ベルギーの陶製の馬。林は、古器物などを収集・鑑賞する趣味の会で、文化人の交流の場であった集古会の発起人だった。集古会では玩具もしばしば取り上げられ、清水晴風や、本書第二巻に序文を寄せた小説家、俳人の淡島寒月（1859-1926）も同会の会員であった。山内も後の大正12（1923）年に同会に加入している。



ビルマ（ミャンマー）の馬の操り人形。洋画家の九里四郎（1886-1953）の所蔵品。



（左）日本画家・久保井翠桐（1876-？）が所蔵していた、インド・ペナレス（ヴァーラーナシー）の木製の水牛。（右）同じく、セイロン島の土製の鸚哥（インコ）。久保井は大正元（1912）年から翌年にかけて、東洋古美術研究を目的にインド各地及び中国南部を旅していた。



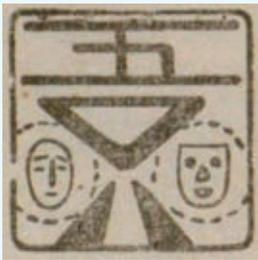
や異色なのは対象を日本に限定せず、広く世界の玩具を取り上げている点です。その背景には、山内の交友関係と外国玩具への関心がありました。

山内は東京美術学校を卒業後、明治44（1911）年に故郷の大阪に戻り、美術店「吾八」^{ごはち}を営んでいました。美術学校時代の先輩や同期、関西在住の芸術家、趣味を同じくする文化人や好事家^{こうずか}、店を訪れる文学者や新聞記者などと広く付き合いがあった山内のもとに、大正2（1913）年、フランス留学帰りの洋画家・九里四郎^{くりの}が外国土産の玩具を持参します。その玩具に面白みを感じて写生したのをきっかけに、山内は友人・知人の所有する玩具を写生するようになり、その蓄積から『寿々』の発刊を思い立ちます。あとがきに記された謝辞には、多くの芸術家や文化人の名が並んでいます。

発刊にあたって山内は「子供の玩具が大供を楽しませるようになりました」と郷土玩具趣味の普及を語っています。一方で、日本の玩具趣味はその盛りを過ぎたとして、「漁り^{あき}尽した道楽の余勢は今や漸く外国玩具に傾き初めたやうに思はれますが日本玩具に比して何分に不便なものですから垂涎^{すいぜん}しつ、も諦めねばならぬ始末」と記し、関心が向けられつつも入手困難な海外の玩具について紹介する

山内神斧(金三郎) という人

山内神斧は大阪に生まれ、画業を志して上京、日本画家の梶田半古の門下となり、明治43(1910)年に東京美術学校日本画撰科を優秀な成績で卒業しました。卒業後は大阪に戻り、明治44年に美術店「吾八」を開店します。ヨーロッパ留学から帰国した高村光太郎が前年に東京・神田に開いた日本初の近代的画廊「琅玕洞(ろうかんどう)」に続く、新奇な店のひとつでした。当時の新聞によれば「店は頗るハイカラに装飾し琅玕洞式の品々を陳列し」、店内で津田青楓や富本憲吉ら若手芸術家たちの展覧会を開催していました。「とし若き美術家の作品雑然として棚に机に満ち満ちてゐる」大阪では類を見ない店だったといえます(『新しい美術趣味』『大阪新報』1912年10月5日 <当館請求記号 YB-622>)。店には若い芸術家がたむろするとともに、谷崎潤一郎や吉井勇ら文学者も訪れました。また、実業家の小林一三は開店当初からしばしば訪れ、宝塚歌劇の公演ポスターを山内に依頼することもあったといえます。幅広い交友は『寿々』の刊行にもつながりました。



美術店「吾八」のロゴマーク



主婦之友社が主催した「家庭手芸品展覧会」の審査日の写真。左から順に、審査員を務めた画家の和田三造、山本鼎、藤井達吉。右端が山内。(写真出典:『主婦之友』10巻5号 主婦之友社、1926.5 <当館請求記号 Z6-29>)

第一期の『寿々』刊行を経て、山内は再度画業を志して上京します。雑誌『主婦之友』の挿絵やコマ絵を担当するうちに社長の石川武美に請われて主婦之友社に入社、挿絵だけでなく編集や企画を手掛け、最終的には同社の取締役まで務めます。文筆家たちとの交流も深く、里見弴と志賀直哉が仲違いして絶交状態に至った際、間に入って和解に一役買ったこともあったそうです。昭和11(1936)年に退社すると、その後は銀座に第二次・吾八を開店し、同店の機関誌『これくしよん』の発行も手がけます。また、小林一三の招聘を受けて阪急美術部に加わり、『阪急美術』をはじめとする雑誌の編集、阪急百貨店内の書店「梅田書房」の経営などの仕事を行っていました。

山内没後の追悼号である『これくしよん』第31号(通号94号)では、関わりがあった人々が、山内の円満な人柄、多彩な趣味を追究する姿勢や行動力に触れ、別れを惜しんでいます。多くの人と関わり、精力的に活動した山内の経歴には興味が尽きません。

ことが刊行の動機となったとしています。また外国玩具に限らず、『うなるの友』に掲載されていないものを載せることも意図していました。

山内が出版した手彩色の限定版『寿々』は、第一巻200部、第二巻100部を刷って絶版となりました。大正7(1918)年には、図版を色刷りに改めたバージョンが芸艸堂から出版されます。200部限定で刊行された芸艸堂版は、画家・図案家の杉浦非水らも所蔵していました。

以後も、形態や版元を変えながら昭和10年代まで『寿々』と題する玩具画集の刊行は続き、早い時期に外国玩具を紹介した貴重な参考文献として、また魅力的な画集として、愛好家の間で独自の位置を占めました。版画家で郷土玩具の収集家として知られる板祐生(愈良)は、山内へ著作を贈呈した折に、返礼として思いがけず『寿々』の数巻を贈られたことへの感激を述べ、「爾来私は寿々を見つめてゐる。親しんでゐる。敬してゐる。愛してゐる。ねころんで見、端座して見、机上に見てゐる」と熱を込めて語っています。

本書の図版の細やかでありながらどこかおらかな線、丹念に施された彩色からは、それぞれの玩具の素朴な形や色に感興を覚え、愛おしむ山内の心が感じられます。その心は、



俳人の水落露石（1872-1919）の所蔵品。洋画家の浅井忠（1856-1907）がフランス留学から帰国する際に持ち帰ったという鳥形の笛。浅井による以下の言葉が添えられていた。

明治三十四年十二月廿二日大雪、馬車ヲ駆ツテバルビゾンニ聖ミレー、ルーソー、ノ古跡ヲ訪フ村塵^{※1} 霽グ所ノ玩具稚氣愛スベシ購フテ記念トナス。

於倶麗村^{※2} 黙語^{※3}

（※1 店に同じ、※2 浅井が留学中に訪れたパリ郊外の村グレー＝シュル＝ロワン、※3 浅井の号）

* 限定版の当該図版が製本の関係で見えづらいため、芸艸堂版 (<https://dl.ndl.go.jp/pid/1183446>) の画像を使用



（左）パリに留学していた版画家・洋画家の山本鼎（1882-1946）が現地から送った謝肉祭の仮面。（右）同じく、五文人形（廉価で売られた小さな人形を指すと推測される）。

本書に引用された山本の手紙からは、パリでの生活が生き生きと伝わってくる。

謝肉祭のミカレーム^{※1}は明日です。グラレ、プールバード^{※2}はコンフエツチ^{※3}が小一尺も積りませう其粉末は空に舞上つて渦をなし濁つた色彩の霧となります。目と口は眉と云はず、耳、鼻、唇、に吸ひつきま

す

家へかへつて服を脱ぐと、五色の豆紙がそこらに散りしかれる。

御約束をした、カアナバル^{※4}の安めん、を一と箱進呈します。グラレブルバードあたりで売つて居るのよりも職人町のそれは必ずアルトフ、テイツク^{※5}です。

これは僕の近郊のちよど八丁堀見たいな、ゲエテ、モンパルナス^{※6}、のあたりで買ひあつめました。豆人形はこつちの五文人形です可愛らしいでせうがね

船便で出します。張子の面がもし熱帯でとけてくづれたら一層キユビズムになつておなぐさみです

（※1 Mi-Carême [仏]（四旬節中日の）謝肉祭、※2 「グラレ」は「グラン」が正しいか。les Grands Boulevards[仏] パリ中心部、セーヌ川右岸にある複数の大通りの通称、※3 confettis [仏] 紙吹雪、※4 carnaval [仏] カーニバル、※5 artistique [仏] 芸術的 か、※6 モンパルナスのゲテ通り（Rue de la Gaité [仏]））

描かれた玩具の所有者たち、本書を手にとった同好の士たちにも通じるものだったでしょう。玩具愛好時代の空気を今に伝える書物のひとつです。



大正3（1914）年4月に大阪三越呉服店で第六回児童博覧会が開催された際、山内が写生した玩具の一部（ロシア、スイス、イギリスの玩具）。



第六回児童博覧会会場の様子。（左）会場入口に伏見城の唐門を模した門を建造するなど、大規模な設営が行われた。（右）服飾部と玩具部。（写真出典：『三越』4巻5号 三越, 1914.5 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1524495/1/9>）

三越の児童博覧会は明治42（1909）年に始まり、第一回から第五回までは東京で開催された。第六回は東京の店舗工事期間と重なったこと、「一地方のものではなく日本全体の児童博覧会である」という趣旨を踏まえ、初めて大阪での開催となった。土日には1万人前後の観客を迎える盛況ぶり、会場には各国の代表的な玩具を展示した「世界玩具室」も設けられた。

1 板愈良編『名物とおもちゃ』（富士のや草紙；第2編）ふじのや愈良, 1925 <https://dl.ndl.go.jp/pid/918303/1/19>

○参考文献

「大阪三越だより」『三越』4巻4号 三越, 1914.4 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1524494/1/37>

「大阪三越だより」『三越』4巻5号 三越, 1914.5 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1524495/1/17>

山内吾八『寿々〔第1期〕1』芸艸堂, 1918 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1183440>

山内吾八『寿々〔第1期〕2』芸艸堂, 1918 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1183446>

山内神斧『寿々〔第3期〕1』山内神斧, 1925 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1183441>

斎藤良輔『おもちゃと玩具』未来社, 1965 <https://dl.ndl.go.jp/pid/2508055>

『これくしょん』第31号（通巻94号）ギャラリー吾八, 1967.2 <当館請求記号 Z11-172>

今村秀太郎「限定本と共に五十年（1）吾八のあゆみ」『日本古書通信』51巻1号（通号678号）日本古書通信社, 1986.1 <当館請求記号 Z21-160>

山内神斧『寿々2版』芸艸堂, 1994 <当館請求記号 W162-60>

堀宜雄 編集『山内神斧と吾八の時代 記録集 「もうひとつの江戸絵画大津絵」 関連展示』福島県立美術館, 2021 <当館請求記号 Y121-M7712>

※原則、引用の旧字は新字に、旧かなづかいは原文のままとした。

みなサーチ正式版 を公開しました



みなサーチ QRコード



図1 みなサーチのシンボルマークのデザインは、「デイジーと本」。アクセシブルなデジタル録音図書の名称である「DAISY」が花のデイジーを連想させ、本を開くと DAISY（デイジー）が飛び出して咲いているところをイメージしている。

国立国会図書館は、令和6（2024）年1月に国立国会図書館障害者用資料検索（愛称：みなサーチ）正式版を公開しました（図1、次頁図2）。みなサーチとは、視覚障害により目が見えない方や見えにくい方、手や腕の障害により紙の本を持ってない方やページをめくれない方、ディスプレイシアで文字が読みにくい方などさまざまな障害のある方が、利用しやすい形式の本を探すことのできるサービスです。令和5（2023）年3月のβ版の公開を経て、令和6年1月に本格運用を開始しました。

みなサーチで探せるものには、点字や録音図書をはじめ多くの種類があります。全国のどの図書館にそれらの本があるのかを調べることもできます。

なぜみなサーチを作ったのですか？

障害の有無にかかわらず、誰もが読書することができる社会の実現を目指し、令和元（2019）年に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）が制定されました。翌令和2（2020）年には、文部科学省と厚生労働省により「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」（読書バリアフリー基本計画）



図2 みなサーチのトップページ (<https://mina.ndl.go.jp/>)。簡易検索、詳細検索、全文検索、ジャンル検索の検索方法が選べる。その下に並んでいるボタンからは、みなサーチでダウンロードできる資料の最近1か月の新着情報や、資料形態ごとの一覧画面へ飛ぶことができる。

が策定され、当館は、DAISY、点字、テキストデータなど、プリントディスプレイのある方（視覚障害などで通常の活字の印刷物の読書が困難な方）が利用しやすい形式の書籍を充実させ、それらの書籍をインターネットを通じてより多くの必要とする方々に提供する体制を強化することとされました（DAISYとは Digital Accessible Information System の略で、プリントディスプレイのある方のために製作されるアクセシブルなデジタル録音図書のことです）。これを受けて、障害のある方でも支援機器やソフトウェアを使って簡単に検索・利用ができるように、視覚障害の当事者の方々などにご意見を伺いながら設計されたのが、このみなサーチです。「みなサーチ」という愛称には、障害のある方も含めたすべての方々皆（「みな」）にとって使いやすいシステムでありたい、という思いが込められています。

みなサーチの検索メニューを教えてください

みなサーチには、簡易検索、詳細検索、全文検索、ジャンル検索の4つの検索メニューがあります。簡易検索では、キーワードでタイトル、著者、出版者などを

種別	説明	点数（概数）
音声DAISY	音声データと見出しのテキストデータが収録され、好きなページや目次のところに自由に飛べるデジタル録音図書	37,300点
マルチメディアDAISY	音声を聴きながら本文のテキストと挿絵などの画像を同時に表示することのできるデジタルコンテンツ	850点
テキストDAISY	テキストデータ（文字）に見出し情報やページ情報等の文書構造を付加したデジタルコンテンツ	200点
EPUB	DAISYの後継規格となる、電子書籍のフォーマット	200点
透明テキスト付PDF	PDFファイルの一種で、紙資料をスキャンしたデジタル化画像とテキストデータを1つのファイルとしてまとめたもの	850点
DOCX (Word)	マイクロソフト社が提供する文章作成ソフトのWord形式のデータ	430点
プレーンテキスト	文字だけで構成され修飾情報を持たないデータ（全文テキストデータを含む）	2,470,000点
点字データ	視覚障害のある方が指で触れて読む点字をパソコンなどでも読めるようにデータ化したもの	2,900点

図3 視覚障害者等用データの令和6（2024）年3月末時点の種別ごとの点数（概数）。プレーンテキストが約247万点で最多、次いで音声DAISY約37,300点、点字データ約2,900点となっている。

まとめて検索できます。詳細検索では、細かく検索の条件を指定して検索します。検索結果の表示の仕方を変えることもできます。全文検索では、キーワードで本文や挿絵のキャプションを検索することが可能です。ジャンル検索では、「ダウンロードの多い資料」、「児童書」、「今すぐ聴ける『歴史的音源』」、「外国から取り寄せたデータ」など、特定のジャンルの資料を探すことができます。また、トップページからは、最近1か月の新着資料（みなサーチでダウンロードできる資料）も見られるようになっています。

みなサーチでは何が検索できますか？

みなサーチでは、「視覚障害者等用データ」が検索できます。これは、プリントディスプレイのある方のために、通常の本などを音声、点字、テキストなどに変換した電子データです。音声DAISY、マルチメディアDAISY、EPUB、プレーンテキスト、点字データなどの種類があります（図3）。

それらに加え、有形の資料も検索対象です。CDなどの媒体に保存されているDAISY資料や、字幕や音声ガイドが付いているフリー映像資料、冊子の点字資料、弱視者や高齢者向けに出



種別	内容	点数（概数）
図書	・1968年までに受け入れた図書 ・震災・災害関係資料の一部（1969年以降受入分も含む）	97万点
雑誌	・明治期以降に刊行された雑誌 （刊行後5年以上経過したもの）	132万点
博士論文	・1990～2000年に送付を受けた博士論文	15万点
その他	・官報等	2万点
計		247万点

図 4-1 全文テキストデータ収録資料の種類、内容、点数。1960年代までに出版された図書、2000年までに出版された雑誌を収録している。

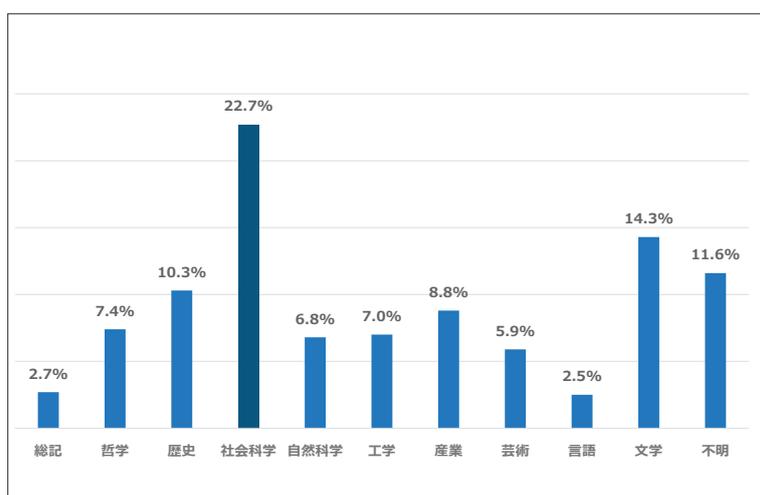


図 4-2 全文テキストデータとして収録されている図書約 97 万点の分類別内訳。

版された大活字本、知的障害や学習障害などの方にも理解しやすいように図や写真を多く使うなどの工夫をして書かれているLTPブック、さわるだけでなくひっぱる、はずす、ほどく、むすぶなどの動作学習を行うことができる布の絵本、視覚障害児が触覚で鑑賞できるように、布や皮革なども用いて半立体的に作られたさわる絵本などを検索できます。

また、みなサーチでは、国立国会図書館だけでなく、他機関の所蔵情報も確認できます。例えば、全国の公共図書館、視覚障害者情報提供施設（点字図書館等）で製作した障害者向け資料や、障害のある学生のために大学で製作された障害者向け資料なども検索できます。このほか、青空文庫に収録されている著作権の保護期間が満了した小説・随筆などの作品も検索できます。無料で利用できる資料だけではなく、販売している音声読み上げ対応の電子書籍やオーディオブックも検索できるので、ご自身で購入したい資料を探すこともできます。

みなサーチで新たに始まったサービスを教えてください

みなサーチでは、「全文テキストデータ」の提供を新たに開始しました。この



むかしむかしそれはかわいい おんなの子がありました。まっかなずきんがにあらのでいつもかぶっておりました。ですから、あかずきんあかずきんとみんなによばれておりました。ある日おかあさんがいいました。「あかずきんや、このおかしと・ぶどうしゅとをもってお山のおばあさんのお見まいにいつてちょうだいね。みちくसानんかしないでいくのよ。おばあさんにおはようとごあいさつするのですよ。」「ええよくってよ。」あかずきんはげんきよくおうちをでました。それはお日さまのここにこしたはるのあさでいくのよ。おばあさんするのですよ。」した。あかずきんがお山のみちをうたをがらあるいておりますと、おほかみがそとつけてきました。あかずきんはまだ、おほかみのしっておりました。「あかずきんのおじょうさん。こんにちは。どちらへ」「まあおはよう。おばあさんのお見まいに。」「そのかごにはいつているのはなんですか。」「やきたてのおかしとぶどうしゅよ。」「おばあさんのおうちはどちらです。」「ほら三ぼんおほきな木が見えるでしょう。あのしたにあるかわいいうち。」あかずきんはおしえてあげました。

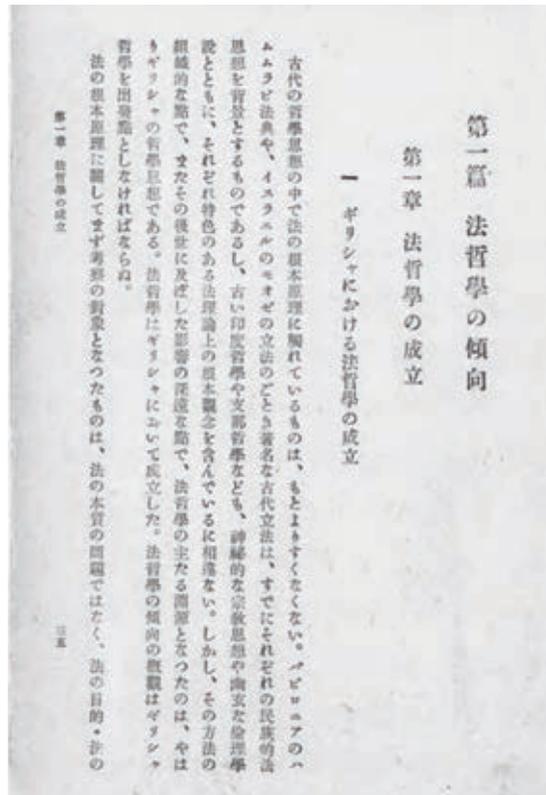
図 5-1 全文テキストデータの例。挿絵を除いた文字の部分がテキスト化されている。

『赤ずきん』(世界名作童話低学年向; 2) グリム兄弟 原作, 成城教育研究所 編, 野村書房, 1947
 みなサーチ <https://mina.ndl.go.jp/books/R100000039-I1168445>
 国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/1168445>

全文テキストデータは、図 3 (10頁) では「ブレンテキスト」に含まれていません。これは、国立国会図書館デジタルコレクションで提供している図書や雑誌の画像データを、文字認識処理(OCR処理)をすることにより作成したテキストデータです。それぞれの資料の全ページをOCR処理にかけており、1冊全体がテキストデータになっています。総数は全部で約247万点です。このうち図書は約97万点あり、これらの図書の分野別の点数は、社会科学が22・1万点で全体の22・7%を占め最も多く、次いで文学が13・9万点(14・3%)、歴史が10万点(10・3%)となっています(前頁図4)。

全文テキストデータには文字以外の挿絵や写真、図などは含まれておらず、人の手による校正を経していない未校正のテキストデータであるため、誤字やレイアウトの崩れが生じ、読みにくいものもあります(図5)。しかし、この全文テキストデータ提供により、これまでプリントディスプレイのある方が読むことの難しかった国立国会図書館デジタルコレクション収録の資料は、飛躍的にアクセシブルなものとなりました。

現在、全文テキストデータがあるのは、



第一篇法哲学の傾向第一章法哲学の成立—ギリシャにおける法哲学の成立古代の哲学思想の中で法の根本原理に觸れているものは、もとよりすくなくない。バビロニアのハムムラビ法典や、イスラエルのモオゼの立法のごとき著名な古代立法は、すでにそれぞれの民族的法思想を背景とするものであるし、古い印度哲学や支那哲学なども、神秘的な宗教思想や幽玄な倫理學説とともに、それぞれ特色のある法理論上の根本觀念を含んでいるに相違ない。しかし、その方法の組織的な點で、またその後世に及ぼした影響の深遠な點で、法哲学の主たる淵源となつたのは、やはりギリシャの哲学思想である。法哲学はギリシャにおいて成立した。法哲学の傾向の二觀はギリシャ哲学を出發點としなければならぬ。法の根本原理に關してまず考察の對象となつたものは、法の本質の問題ではなく、法の目的・法の

図 5-2 全文テキストデータの例。

尾高朝雄『法哲学概論』日本評論社, 1949

みなサーチ <https://mina.ndl.go.jp/books/R100000039-I1124038>

国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/1124038>

主に1960年代までに出版された図書、2000年までに出版された雑誌です。今後も1970年代以降に出版された図書などを順次テキスト化して提供する予定です。

みなサーチで検索した資料はどうやって利用するのですか？

利用者登録（後述）をすれば、資料によつてはすぐにダウンロードやストリーミングをして利用することができます（次頁図6）。みなサーチからダウンロードやストリーミングができるのは、当館が平成26（2014）年1月から行っている「視覚障害者等用データ送信サービス」で提供している視覚障害者等用データです。令和6（2024）年3月末現在で約251万点に上ります（10頁図3）。
前述した全文テキストデータも、ダウンロードできるデータの一つです。利用者登録した方がみなサーチにログインし、全文テキストデータのある資料の書誌詳細画面を開くと、ダウンロードボタンが表示され、すぐにダウンロードできます。全文テキストデータはプレレンテキストなので、音声読み上げソフトで読み上げたり、点字表示が可能な支援機器で利用したりすることができます。



図6 みなサーチ上ですぐに利用できるデータが存在する資料の場合、その資料の書誌の詳細画面でログインすると、「データをダウンロード」などのボタンが表示され、データを利用することができる。

また、みなサーチでは、国内のどこの機関に所蔵されているのか、どうすれば利用できるのかも簡単にわかるようになっていきます。読みたい資料が遠方の図書館にあれば、近隣の図書館を通じて借りられる場合もあります。

利用者登録方法を教えてください

みなサーチで全文テキストデータも含めた視覚障害者専用データを利用できるのは、プリントディスプレイがある方に限られ、事前に専用の利用者登録が必要ですが（この登録は、通常の当館の利用者登録とは別個のもので）。従来の利用者登録の申請方法は、国立国会図書館ホームページのフォームからの申込みや郵送、FAXによる申込みで、当館での手続きを経て当サービスの利用ができるようになるまでには時間がかかっていました。

令和6（2024）年1月のみなサーチ本格運用開始以降は、すべての手続きがオンラインでできるようになり、当サービスを利用できるようになるまでの日数が格段に短くなりました。ぜひオンライン登録をご活用ください（次頁図7）。

利用者登録でお困りの場合は、左記の



図 7-1 オンラインで利用者登録をするためには、「利用者登録する」ボタンを押してください。
(<https://mina.ndl.go.jp/login>)

図 7-2 「利用者登録する」ボタンを押すと、メールアドレスの入力画面に移ります。
(<https://mina.ndl.go.jp/register/mail>)
メールを送信した後、利用者情報の入力に進みます。

窓口でご相談を受け付けています。
相談窓口：国立国会図書館関西館
図書館協力課 障害者図書館協力係
電話：0774（98）1458（月
曜日から金曜日 9時から17時45分 国
民の休日・祝日及び年末年始を除く）
FAX：0774（98）9117
メールアドレス：syo-ky@ndl.go.jp

自宅で使えないのですが……
みなサーチで提供している視覚障害者
等用データをダウンロードできるのは、
利用者登録をした個人の方のみではあり
ません。プリントディスプレイのあ
る方へのサービスを行っている図書館な
どの施設も、視覚障害者等用データ送信
サービスに利用者登録することで、デー
タをダウンロードすることができます。
令和6（2024）年3月末現在、この
サービスへ利用者登録している施設（送
信承認館）数は、全国で337館です（内
訳：公共図書館186館、大学図書館75
館、視覚障害者情報提供施設27館、学校
図書館（特別支援学校図書館含む）45館
その他4館）。

みなサーチで検索しようとしても読み
たい資料がうまく探せない場合には、お
近くの送信承認館にご相談ください。送



図8 国立国会図書館ホームページの「各サービスの承認館・参加館一覧」
(https://www.ndl.go.jp/jp/library/supportvisual/supportvisual_partic_1.html)

信承認館の一覧は、国立国会図書館ホームページの「各サービスの承認館・参加館一覧」(https://www.ndl.go.jp/jp/library/supportvisual/supportvisual_partic_1.html) からご覧いただけます(図8)。

終わりに

一般の活字の出版物に比べて、障害のある方が利用しやすい資料の点数は、まだまだ限られています。誰もが、読みたいたときに読みたい本を読むことのできる社会を実現するために、当館は、みなサーチでのデータ提供点数のさらなる増加を目指しています。加えて、みなサーチの使い勝手を今後も改善していく、利用しやすい資料を必要としているより多くの方々に、みなサーチを利用していただければと考えています。

(関西館 図書館協力課)

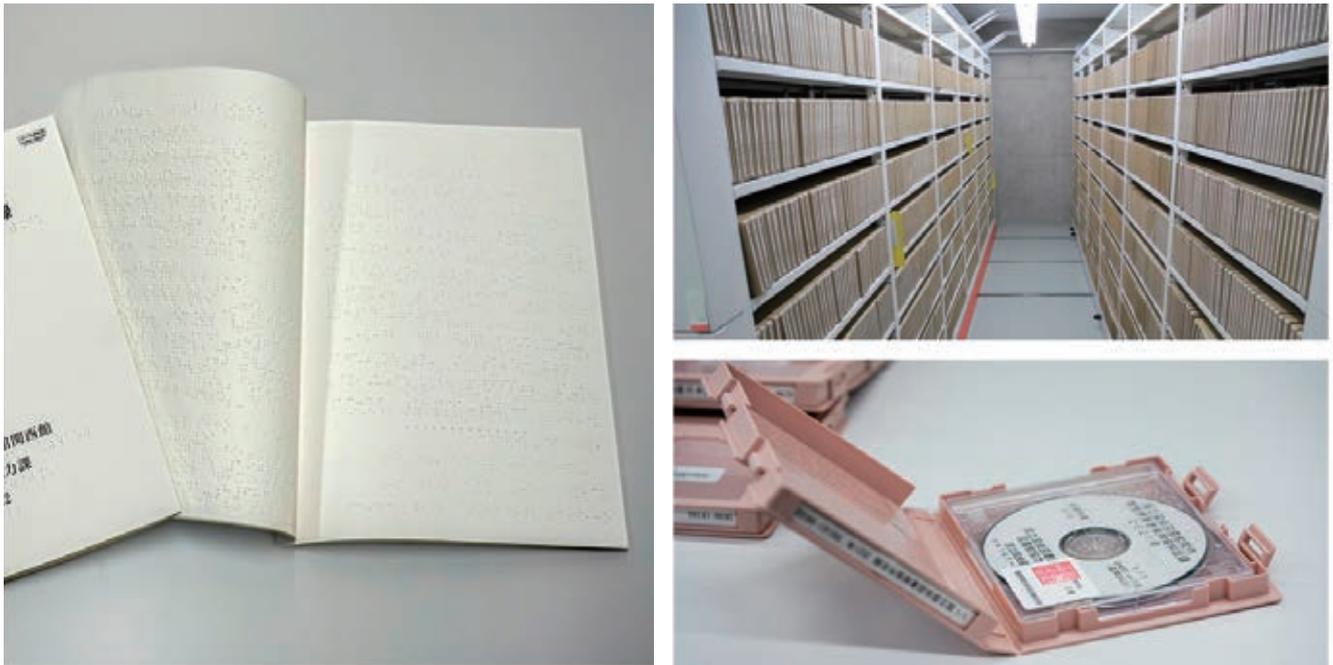


図9 右上から時計回りに、音声 DAISY を保存している国立国会図書館関西館の書架、パッケージに入った音声 DAISY、冊子体の点字資料

全国の図書館からデータを収集しています

当館は、みなサーチからダウンロードできるデータを、データを製作している図書館・機関から収集しています。製作したデータを当館へ提供していただくと、みなサーチを通して全国の読者へそのデータを届けることができます。

令和6（2024）年3月末時点で、全国の141館からデータの提供を受けています（内訳：公共図書館97館、大学図書館15館、視覚障害者情報提供施設1館、学校図書館（特別支援学校図書館含む）3館、その他25館）。

さらに多くの機関にご参加いただき、プリントディスプレイのある方が読める本を1冊でも増やすため、当館はデータ提供の呼びかけにも力を入れています。ぜひご協力ください。

みなサーチで選ぶ読書のカタチ

みなサーチのウェブサイト内には、その活用方法を提案する「みなサーチで選ぶ読書のカタチ」というページがあります。

そこには、初めてみなサーチを利用する方向けのガイドや、みなサーチの具体的な活用事例を掲載しています（図 10）。

活用事例では、端末やソフトウェアの種類ごとに、みなサーチへのログイン方法、データのダウンロードのやり方、読み上げの方法などについての詳細な操作方法を解説しています。実際にみなサーチを利用される際に参考にしていただければ幸いです。

[みなサーチ活用事例の目次に戻る](#)

事例1-3 Windowsパソコン、スクリーンリーダー「NVDA」、ブラウザ「Google Chrome」編

(1) 前提条件

- パソコンはWindows 10またはWindows 11
- Windows用スクリーンリーダー「NVDA日本語版」
- ブラウザ「Google Chrome」

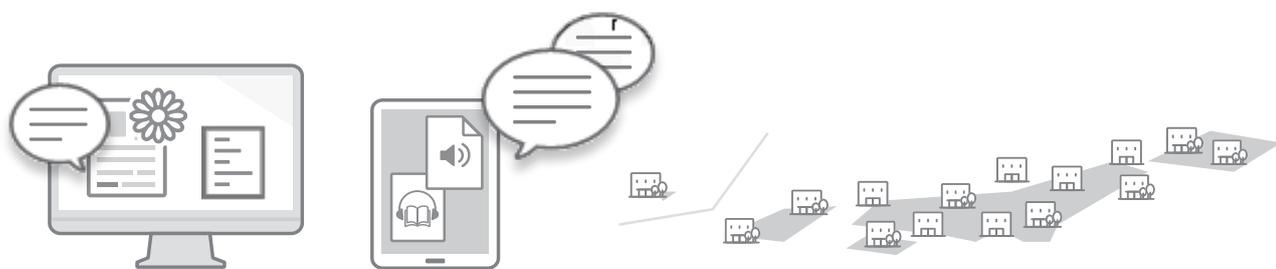
(2) 「NVDA」の事前の設定

NVDA 制御キーは、既定の設定では「無変換キー」、NumLock（ナムロック）がオフの場合の「テンキー 0」、そして Insert キーです（これは Delete や Home や End の各キーの近くにありますが）。NVDA 制御キーは、「変換キー」「Escapeキー」に割り当てすることもできます。英語キーボードの場合は CapsLock キーに割り当てすることもできます。

- ① Ctrl+Alt+Nを押すか、Windowsキーでスタートメニューを開き、下矢印キーですべてのプログラムに行きます。Enterキーを実行し、下矢印キーでNVDAを選び、Enterキーで「NVDA」を実行することで起動します。
- ② NVDAを起動したら、上矢印または下矢印で、「キーボード配列」を「デスクトップ」または「ラップトップ」に設定します。
- ③ TabキーでNVDA制御キーを選び、設定したいキーにスペースキーでチェックします。
- ④ TabキーでWindowsへのサインイン後にNVDAを自動的に起動は、必要に応じてスペースキーで設定を変更します。

図 10 みなサーチ活用事例の一例（https://mina.ndl.go.jp/about/mina-usecase/1_3）。Windows のパソコンでブラウザ「Google Chrome」とスクリーンリーダー「NVDA 日本語版」を使う場合の手順の詳細を解説している。

DAISYデータ、点字データなどを 製作されている図書館の方へ



そのデータ、
国立国会図書館に登録して
全国で共有しませんか？

下のURLまたは右の二次元コードから
詳細をご覧ください。



https://www.ndl.go.jp/jp/library/supportvisual/supportvisual-10_01.html

本屋に

ない

本



大名の献立
文化二年壬生御献立帳

「郷士の偉人顕彰作業」実行委員会 刊
2022
71 p ; 30 cm
<請求記号 GD51-M120>

遠い過去の人々がどのような食生活を送っていたのか、興味を持ったことはあるだろうか。食は単に健康維持のために不可欠だけでなく、豊かな人生を送る上でも重要な要素である。しかし、後世に生きる私達にとって昔の食生活は実態が掴みにくい。ハレの日ではない日常の食事が取り立てて記録されることは稀だからである。

本書は、令和4（2022）年に栃木県の壬生町立歴史民俗資料館で開催された展覧会の図録であり、そんな私たちの疑問に答えてくれる。特に注目すべきは、第II章に掲載された壬生藩鳥居家第4代忠熹の文化2（1805）年7月の献立帳である。1か月という連続した期間の日常の食生活を明らかにできる点で史料の価値が非常に高

い。本書の巻末には献立帳の翻刻も掲載されているため、本書を読むことで忠熹の1か月の食事の全体像を把握することができる。

ここでは、献立の内容を一部ご紹介したい。忠熹の一日の食事は朝・夕・夜の三食からなるが、その中身を見てみると、朝夕は「ご飯、茄子の汁、玉子とじ」など一汁一菜が基本で、必ずしも品数は多くないようである。また、夜食には汁は無く、一菜に香物がつくことが通例となっていた。近年では「栄養と料理」誌上において一汁二菜の献立例も多く掲載されていることを踏まえると——寛政期以降、藩の年貢収取はそれ以前と比べて低位で推移しており、断続的な凶作も相まって財政が厳しかった点には留意すべきだが——大

名といえども日常の食事は意外にも質素であったことに驚かされる。なお、ハレの日である七夕には、朝夕に一汁三菜の御膳、夜には素麺を食べていたようである。

また、ぜひ注目したいのは、献立の料理名の側に欠かさず記された「不残」「二椀」等の文字である。これは献立作りの参考とするために、忠熹がどの程度食べたのかを、藩の料理人が日々記録したものと考えられている。さらに、献立帳の翻刻を通覧すると、限られた種類の食材を駆使して献立に変化をつけていたことも見えてくる。本書の魅力は、このように、大名の食事そのものに加え、それを作った名もなき料理人の気配りにも焦点を当てている点にある。歴史の表舞台で活躍した大

名の日常食を、それを支えた人々の姿とともに垣間見てみたいと思った人には、ぜひ一度本書を紐解いてほしい。

このほか第一章では、様々な「御献立」に関する資料や料理模型を用いて、織田信長による豪華な饗応膳を始めたとした天下人達の食事を紹介している。第二章では忠熹のほか、徳川家斉の日常食がどのようなものであったかを伝えている。さらに第三章では、献立でも用いられている干瓢等の壬生の特産物を取り上げ、錦絵や図譜を基に当時を生きた生産者たちの姿を紹介している。このように本図録は、食に関する多様な資料を元に、当時の食文化の一端をうかがうことができる一冊である。

（横山浩貴）

*松本仲子『日本食と出汁 ご馳走の文化史』雄山閣、2018、pp.122-126

国立国会図書館は、法律によって定められた納本制度により、日本国内の出版物を広く収集しています。このコーナーでは、主として取次店を通さない国内出版物を取り上げて、ご紹介いたします。

全国書誌データ等の提供

—国立国会図書館の書誌データ提供サービスのご案内—

全国書誌データ (国立国会図書館が収集した有形の資料のうち、国内出版物及び外国で発行された日本語出版物の標準的な書誌データ) を検索できます。検索結果を、MARC等の形式でダウンロードすることができます。 [\[全国書誌データ検索のヘルプ\]](#)

検索キーワードを入力

全国書誌/新着書誌
 全国書誌 (完成書誌) 新着書誌 (作成中書誌) [すべて解除](#)

書誌完成日/新着書誌登録日
年/月/日 ~ 年/月/日

資料区分
 図書 非図書 電子資料 地図 録音・映像資料 逐次刊行物 (逐次刊行物以外の非図書、電子資料等を含む) [すべて解除](#)

全国書誌番号 ISBN / ISSN
978-4-XXXXX-XXX-X

官公庁の出版物/その他の出版物
 中央官庁出版物 地方公共団体出版物 その他 (民間等) 出版物 [すべて解除](#)

[項目追加](#) [検索](#) [条件をクリア](#) [絞り込み条件を閉じる](#)

関連する国立国会図書館の書誌提供サービス

国立国会図書館サーチで提供するサービス

- 国立国会図書館蔵書目録データ検索**
WEB NDL CATALOG
国立国会図書館蔵書目録データ検索
外国刊行資料や憲政資料など全国書誌対象以外の資料も含む、国立国会図書館の蔵書目録 (有形の資料が対象) です
- 全国書誌(電子書籍・電子雑誌編)**
WEB JAPANESE NATIONAL BIBLIOGRAPHY RECORDS OF e-BOOKS and e-PERIODICALS データ検索
全国書誌 (電子書籍・電子雑誌編)
国立国会図書館が収集した電子書籍・電子雑誌の書誌データが対象です
- 国内の電子書籍・電子雑誌**
BIBLIOGRAPHIC RECORDS OF e-BOOKS and e-PERIODICALS PUBLISHED IN JAPAN データ検索
国内の電子書籍・電子雑誌検索
国立国会図書館が収集した電子書籍・電子雑誌および外部機関のリポジトリに蓄積される国内のオンライン資料の書誌データが対象です

国立国会図書館の所蔵資料 (蔵書) は、納本制度に基づく納入、寄贈、購入、国際交換等の方法で収集した資料や、前身となる機関から引き継いだ資料から成り立っています。所蔵資料の種類、時代、地域、言語等は多岐にわたり、件数も膨大です。

国立国会図書館では、これらの所蔵資料を検索、識別、選択、利用できるよう、資料の情報を整理して記録した書誌データを作成しています。

国立国会図書館の書誌データはまた、それ自体をご利用いただくこともできます。例えば、図書館の目録データ、ブックリストや個人の蔵書リストなどにご利用いただいています。

令和6(2024)年1月にスタートした新しい国立国会図書館サーチ(以下、「NDLサーチ」)では、全国書誌データ等の国立国会図書館の書誌データをより便利にご利用いただけるようになりました。本稿では、書誌データ提供サービスについてご紹介します。

(収集書誌部収集・書誌調整課書誌サービス係)

国立国会図書館が作成・提供する書誌データ

全国書誌データ

全国書誌とは、一般的には、ある一国で刊行されたすべての出版物に関する情報を網羅的、包括的に記録した書誌のことで、広義にはその国の言語で書かれた他国での著作等を含みます。

国立国会図書館は、日本の全国書誌作成機関として、国立国会図書館で収集した資料のうち、国内出版物及び外国刊行の日本語出版物を対象に、全国書誌データを作成、提供しています。日本の標準的な目録規則である日本目録規則 2018 年版を適用した標準的な書誌データとなっています。

全国書誌は、昭和 23 (1948) 年 10 月に『納本月報』として刊行されて以来、名称、形態や収録対象を変えながら現在に至っています。平成 26 (2014) 年 3 月には、国立国会図書館で収集した国内のオンライン資料（電子書籍・電子雑誌）を対象とした全国書誌（電子書籍・電子雑誌編）の提供を開始しました。全国書誌が冊子、カードからディスク、オンラインへと形を変えるにつれ、現在では「全国書誌データ」と呼ぶことが多くなっています。全国書誌の沿革については本誌の過去の記事^{*1}や国立国会図書館のホームページに掲載の「全国書誌のあゆみ」^{*2}をご参照ください。

その他の書誌データ

国立国会図書館では、もちろん、全国書誌データに含まれない資料群（外国刊行の外国語資料、古典籍、憲政資料、博士論文等）の書誌データも作成、提供しています。これらの書誌データは、日本目録規則 2018 年版や英米圏で広く使われている RDA (Resource Description and Access) を適用して作成しています。

また、典拠データ (p.27 コラム参照) や、国内刊行の雑誌を対象とした雑誌記事索引データ^{*3}も作成しています。

新着書誌情報

国立国会図書館では、資料の受入後に実物を確認しながら書誌データを作成しています。令和 4 年度の和図書の実績では、資料の受入から書誌データの完成までに要した日数は、おおむね 16 日でした^{*4}。NDL サーチでは、全国書誌データをいち早く提供するために、作成中の全国書誌データ（地図資料、アジア言語資料を除く。）を新着書誌情報として提供しています^{*5}。

◆ご利用の条件

国立国会図書館が作成した書誌データは、営利／非営利を問わず、どなたでも申請なしに無償でご利用可能です^{*6}。

*1 上保佳穂「日本全国書誌のあゆみ」(『全国書誌通信』 No.118, 2004.6.30)

http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_8723857_po_118.pdf?contentNo=1#page=3

横山幸雄「全国書誌の 70 年 「もの」 から「サービス」へ」(『国立国会図書館月報』 691 号, 2018.11)

http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11174776_po_geppo1811.pdf?contentNo=1#page=16

*2 「全国書誌のあゆみ」 https://www.ndl.go.jp/jp/data/data_service/jnb/history.html

*3 「雑誌記事索引について」 <https://www.ndl.go.jp/jp/data/sakuin/index.html>

*4 「令和 4 年度 サービス実績」 https://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/evaluation/r4_service.html

*5 未受入で新着書誌情報がまだない資料のうち流通資料については、NDL サーチで出版情報登録センター (JPRO) からデータ連携された刊行前の出版情報を提供しています。

*6 書誌データのご利用にあたっては国立国会図書館ホームページの以下のページをご参照ください。

「サイトポリシー」 <https://www.ndl.go.jp/jp/sitepolicy/index.html>

「書誌データの利用」 <https://www.ndl.go.jp/jp/use/metadata/index.html>

書誌情報出力機能

検索結果一覧、お気に入り画面、書誌詳細画面から、データ形式や最大件数（検索結果一覧、お気に入り画面の場合）を選択して書誌データをダウンロードできます。

書誌情報出力機能の詳細については、NDL サーチのヘルプ（<https://ndlsearch.ndl.go.jp/help/metadata>、<https://ndlsearch.ndl.go.jp/bib/help#A5000>）をご参照ください。



図1 検索結果一覧画面



書誌情報出力ダイアログ画面

検索結果一覧画面に表示される「書誌情報を一括出力」ボタンをクリックすると、書誌情報出力ダイアログ画面（左図）が表示され、フォーマット（データ形式）、件数を選んで、書誌データを一括ダウンロードできます。

※ MARC 形式でダウンロードできるのは、国立国会図書館が所蔵する有形の資料（物理的な媒体を有する資料）等の書誌データのみです。
※画面や表示件数によっては最大件数が異なります。

ダウンロードできるデータ形式のうち MARC 形式（ISO2709）、MARC タグ形式（以下、まとめて「MARC 形式」）は、図書館の目録データに広く使用されているデータ形式です。旧 NDL サーチでは、MARC 形式によるダウンロードは、1 件ずつのみ可能でしたが、NDL サーチでは、複数件一括ダウンロードが実現しました。

また、NDL サーチでは、旧 NDL サーチと同様に API による書誌データの取得が可能です。仕様の詳細は、NDL サーチのヘルプ（<https://ndlsearch.ndl.go.jp/help/api>）をご参照ください。

「全国書誌データ検索」等の各種検索画面

NDLサーチでは、サブ画面として「全国書誌データ検索」をはじめとした4種類の検索画面を新設しました。これらの検索画面ではあらかじめ検索対象を特定の資料群（書誌データ群）に絞るとともに、独自の検索項目を設けるなどし、目的の書誌データをより検索しやすくしています。

また、NDLサーチ本体と同じ書誌情報出力機能を用いて書誌データのダウンロードが可能です。以下に各検索画面について簡単にご紹介します。

・全国書誌データ検索

全国書誌データ（国立国会図書館が収集した有形の資料のうち、国内出版物及び外国で刊行された日本語出版物）及び新着書誌情報（p.22 参照）を検索対象としています。



図2 全国書誌データ検索 (<https://ndlsearch.ndl.go.jp/bib>) での検索結果一覧画面



図3 全国書誌データ検索のソート順

全国書誌データ、新着書誌情報を対象に検索、ダウンロードできます。

独自の検索項目を設けています。

- ・ 書誌完成日 / 新着書誌登録日
- ・ 官公庁の出版物 / その他の出版物 など

前ページと同様に、「書誌情報を一括出力」ボタンをクリックすると、書誌情報出力ダイアログ画面が表示されます。

検索結果一覧に独自のソート順（書誌完成日、NDC 順）を設けています。

・ 国立国会図書館蔵書目録データ検索

国立国会図書館が収集した有形の資料の蔵書目録データ（全国書誌データを含む。）及び新着書誌情報（p.22 参照）を検索対象としています。資料区分等の独自の検索項目を設けています。

図4 国立国会図書館蔵書目録データ検索 (<https://ndlsearch.ndl.go.jp/bib/ndlcat>)

・ 全国書誌（電子書籍・電子雑誌編）データ検索

国立国会図書館が収集した国内のオンライン資料（電子書籍・電子雑誌）の書誌データを対象としています。書誌データ登録日等の独自の検索項目を設けています。

なお、国内のオンライン資料（電子書籍・電子雑誌）については、有形の資料とは異なり、例えば一定の要件を満たすと認められる他機関のリポジトリに蓄積されている資料のように、収集対象外となる資料もあります（原聡子「オンライン資料収集制度（e デポ）の10年のあゆみとこれから」『カレントアウェアネス』358, 2023.12.20 <https://current.ndl.go.jp/ca2051>）。当画面の検索対象には、収集対象外となる資料は含まれません。このことへの対応として、次項で紹介する「国内の電子書籍・電子雑誌書誌データ検索」を設けました。

図5 全国書誌（電子書籍・電子雑誌編）データ検索 (<https://ndlsearch.ndl.go.jp/bib/jnb-ebef>)

・国内の電子書籍・電子雑誌書誌データ検索

国内のオンライン資料（電子書籍・電子雑誌）等の書誌データを対象としています。NDLサーチで提供する範囲内で、「全国書誌（電子書籍・電子雑誌編）データ検索」の対象範囲と、収集対象外となる他機関リポジトリに蓄積されている資料を一元的に検索することができます。

なお、検索結果には、電子書籍・電子雑誌以外の資料（リポジトリに蓄積されている博士論文等）を含むことがあります。



図6 国内の電子書籍・電子雑誌書誌データ検索 (<https://ndlsearch.ndl.go.jp/bib/dom-ebej>)

コラム 令和5年度書誌調整連絡会議

国立国会図書館では、書誌調整に関する国内の関係諸機関との情報共有や意見交換の場として、「書誌調整連絡会議」を定期的を開催しています。

令和5年度は、「全国書誌データの現状と将来」をテーマとして開催しました*。

会議では有識者から、国立国会図書館の書誌データと連携機関の書誌データを一元的に検索できるNDLサーチは、いわば広義の全国書誌ということもでき、従来の全国書誌と広義の全国書誌をつなぐための典拠データを生かした仕組みづくりが重要になることや、これからの全国書誌の在り方として、「つながる書誌」のプラットフォームとして情報をつなぎ合わせる仕組みを作り、未来を先取りする形で見せていくことへの期待といった、全国書誌の将来像を考える上でのヒントとなる様々なご提言をいただきました。

全国書誌の歴史を受け継ぎつつ、時代のニーズに合わせて変化・進化し続けなければならないことを再認識しました。

* 「令和5年度書誌調整連絡会議報告」

https://www.ndl.go.jp/jp/data/basic_policy/bib_control/conference/2023_report.html

コラム 典拠データによる検索

ここで視点を変えてNDLサーチにおける典拠データを使った検索をご紹介します。典拠データとは、平たく言えば、資料の検索の手がかりとなる著者名やキーワードを整理してまとめたデータです。書誌データと結びつく(リンクする)ことで、典拠データをキーとした書誌データの的確な検索(集合化、識別)が可能となります。国立国会図書館では、個人名典拠、団体名典拠、普通件名典拠、著作典拠、ジャンル・形式用語典拠といったさまざまな典拠データを作成し、書誌データとリンクしています*1。

NDLサーチ(前述のサブ画面を含む。)では、典拠IDを使った検索や典拠IDと他の検索項目の掛け合わせ検索が可能になりました。

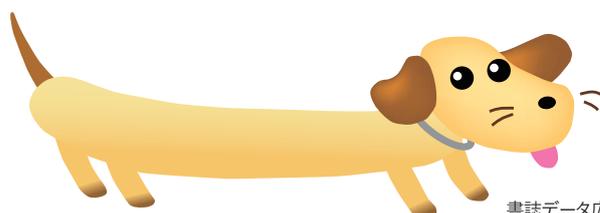
典拠データの詳細は、「国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス」(Web NDL Authorities) *2のヘルプや国立国会図書館ホームページの「典拠データの提供」*3をご参照ください。

- *1 資料群ごとの典拠データの付与水準を「書誌データ水準」(<https://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/levels.html>)で定めています。
- *2 「国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス」(Web NDL Authorities) <https://id.ndl.go.jp/auth/ndla>
- *3 「典拠データの提供」 https://www.ndl.go.jp/jp/data/data_service/authorities.html



国立国会図書館サーチの書誌詳細画面

以上のとおり、NDLサーチでの新しい書誌データ提供サービスが始まりました。国立国会図書館では、これからも、書誌データの品質維持、更なる充実やサービスの利便性の向上に取り組んでいきます。より多くの方に国立国会図書館の書誌データをぜひご利用いただくと幸いです。



書誌データ広報犬
カーネ

新しいNDLサーチでも、
書誌データを使ってね!

その他の書誌データ提供サービス

NDL サーチ以外の書誌データ提供サービスのうち主なものを紹介します。

JAPAN/MARC

JAPAN/MARC (M/S) (A)、は、国立国会図書館が作成した全国書誌データ (M/S) 及び典拠データ (A) を MARC 形式で提供するサービスです。平成 31 (2019) 年 4 月には、書誌データの無償提供開始に伴い、国立国会図書館ホームページで週次での提供を開始しました。お申し込みによる JAPAN/MARC 全件データの提供も行っています。



https://www.ndl.go.jp/jp/data/data_service/jnb_product.html

全国書誌 (電子書籍・電子雑誌編)

平成 26 (2014) 年 3 月から、全国書誌 (電子書籍・電子雑誌編) の新規データ (TSV 形式) を国立国会図書館のホームページで提供しています。



https://www.ndl.go.jp/jp/data/data_service/jnb/ebej_tsv.html

海外への提供

国立国会図書館の書誌データ等は、海外にも提供しています。

全国書誌データ及び雑誌記事索引データについては、OCLC (OCLC, Inc.) との相互協力により、WorldCat^{*1} (OCLC が維持管理している書誌データベース) を通じて書誌データを提供しています。典拠データについては、バーチャル国際典拠ファイル (Virtual International Authority File :VIAF)^{*2} に加盟し、個人名、団体名、家族名、統一タイトル、著作および地名の典拠データを VIAF データベースを通じて提供しています。



*1 WorldCat <https://search.worldcat.org/>

*2 VIAF (バーチャル国際典拠ファイル) <https://viaf.org/>



予算書を広げながら予算に思いを巡らせている様子

もしも 宝くじが当たったら



もしも宝くじが当たったら。誰もが一度は考えてみたことがあるのではないだろうか。筆者は読みたい本を好きなだけ買います。

国立国会図書館の令和6年度当初予算額は、202億58万9千円。サマージャンポ宝くじの1等に40回も当選するのと同じ規模の金額です。これだけの予算規模であれば、あれもこれもみんなできるかと思いきや、そんな余裕はありません。むしろ、限られた予算をどう配分するか、頭を悩ませる場合がほとんどです。

一口に「予算」と言っても、そこには様々な経費が含まれます。職員の給料も、資料を買うためのお金も、施設を維持するための工事費用も、先述の202億58万9千円で賄う必要があります。この他にも、館内サービス用のシステムの運用経費、庁舎の清掃料、刊行物の印刷代、資料に貼るラベル代、固定資産税の代わりに市町村に払う交付金、電話代、電気・ガス・水道代など、挙げていけばキリがありません。

会計課予算係では、当館が必要とする予算を積み、財務省との折衝を行います。予算要求にあたっては、館内の各部署との調整が欠かせません。

例年、「来年は〇〇をやるから予算が必要だ」「×のお金が足りてないからもっと欲しい」と各所から声が上がってきます。一方で、国の財政状況は厳しく、財務省との事務折衝は、年々、厳しさを増しています。そんな中で予算要求を組み立てていくには、慎重な判断が必要です。

予算は固定されたものではなく、時勢に合わせて変わりゆくものです。昨今はデジタル技術が社会に浸透し、当館を取り巻く環境も大きく変化しました。当館のデジタルコンテンツも充実し、インターネットを通じたサービスの利用も増えていきます。これらの予算要求にあたっては、なぜデジタル化が重要なのか、それがどのように社会に役立つのか、財務省への説明にあたり、担当部署と詳細な検討を重ねました。

来館せずに利用できる資料が増えたら、書店で買えないような本もインターネットで見られたら、検索機能をもっと充実したら、どれだけ便利になるだろう。会計課予算係は、たとえ宝くじに当たらなくても世の中の「もしも」をかなえられよう、国立国会図書館の予算に思いを巡らせています。

(会計課 ドリーマー)

令和5年度利用者アンケート結果公表のお知らせ

国立国会図書館では、提供する各種サービスを改善するために、アンケートを実施しています。

令和5年度は、国立国会図書館のサービスを利用されている方々に対する利用者サービスアンケートに加え、個別のサービス等についてもアンケートを実施しました。

アンケート結果の詳細はホームページで公表しています。ご協力くださった皆様に厚くお礼申し上げます。この結果をふまえて、サービスや業務の改善に活かしていきます。

○令和5年度利用者アンケート結果のページ
https://www.ndl.go.jp/aboutus/enquete/enquete2023_01.html

国立国会図書館ホームページ▽国立国会図書館について▽利用者アンケート▽令和5年度利用者アンケート結果

○問合せ先

総務部企画課 評価係

電子メール hyokaka@ndl.go.jp



新刊案内

レファレンス 880号

団地再生をめぐる経緯と現状

労働協約の地域的拡張適用制度―労働条件決定システムの動向と課題―

オーストラリアの憲法改正国民投票―「ヘラクレスの功業」ともいつべき難業か?―

米軍の気候変動政策―米軍由来の温室効果ガス排出と気候変動適応策/エネルギー戦略―



A4 117頁 月刊 1,100円(税込)
 発売 日本図書館協会

入手のお問い合わせ

日本図書館協会

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

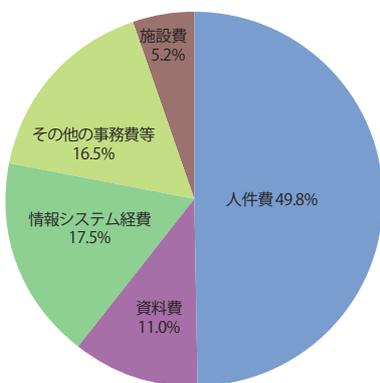
電話 03(3523)0812

国立国会図書館の令和6年度予算

国の令和6年度予算が令和6年3月28日に成立しました。国立国会図書館の令和6年度歳出予算額は、202億58万9000円です。その概要は、表のとおりです。

令和6年度歳出予算額 (単位：千円)	
(項) 国立国会図書館	19,147,186
人件費	10,058,923
国立国会図書館共通経費	182,459
国会サービス経費	281,704
資料費	2,222,433
うち納入出版物代償金	347,570
情報システム経費	3,542,579
東京本館業務経費	1,671,206
国際子ども図書館業務経費	262,967
関西館業務経費	924,915
(項) 国立国会図書館施設費	1,053,403
東京本館庁舎整備費	947,259
関西館庁舎整備費	106,144
計	20,200,589

予算の費目別構成比(令和6年度)



6

NATIONAL
DIET
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2024.6

NO.758

JUNE
2024

CONTENTS

Greetings from new NDL Director General KURATA Keiko

- 03 <Book of the month - from NDL collections>
Juju: A collection of foreign toys in print
- 08 The official version of Mina Search has launched
- 21 Providing Japanese National Bibliography:
Provision services of the bibliographic data of the NDL
- 20 <Books not commercially available>
Daimyo no kondate: *Bunka ninen mibu gokondatecho*
- 29 <Tidbits of information on NDL>
If you win the lottery: The budget allocation of the NDL
- 30 <NDL Topics>

国立国会図書館月報

令和6年6月号 (No.758)

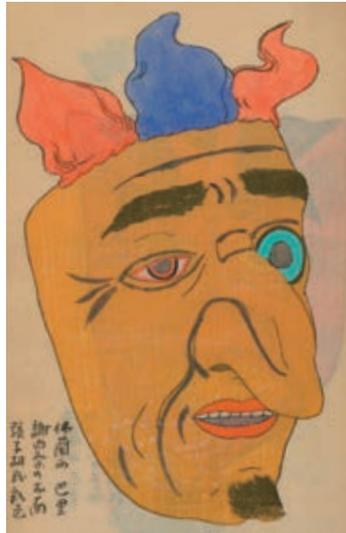
令和6年6月1日発行

発行所 国立国会図書館
編集者 川西晶大
責任者

印刷所 株式会社丸井工文社

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1
電話 03 (3581) 2331 (代表)
FAX 03 (3597) 5617
E-mail geppo@ndl.go.jp
<https://www.ndl.go.jp/>

本誌に掲載した論文等のうち意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りいたします。
本誌に掲載された記事を転載する場合（全文または長文にわたり抜粋する場合、または図版を転載する場合）には、
事前に当館総務部総務課にご連絡ください。
本誌517号以降、PDF版を当館ホームページ（<https://www.ndl.go.jp/>）>刊行物>国立国会図書館月報でご覧いただけます。



NATIONAL
D I E T
LIBRARY
MONTHLY
BULLETIN
2 0 2 4 . 6

 国立国会図書館
National Diet Library, Japan

図

国

国

書

人

士